第 23 回科学技術社会論学会 第 23 回年次研究大会 講演採択発表

A. 一般講演

【環境科学】

1. PR0030　小泉 望（大阪公立大学　農学研究科）
   下水汚泥肥料の活用に関する議論
2. PR0039　平井 俊男（大阪府立長尾高校・会計年度任用職員）
   河川の RpH(Reserved pH)に関する研究 II －文献研究－
3. PR0078　黒田 光太郎（名古屋大学）
   グリーンメタル：カーボンニュートラル実現のための金属

【生命科学】

医療、精神科学、感染症やコロナ、遺伝子やゲノム

1. PR0020　額賀 淑郎（上智大学　生命倫理研究所　客員研究員）
   証拠に基づくパブリックヘルスの転回
2. PR0045　程 慕園（名古屋大学）
   情報学研究科 明治・大正期日本における X 線技術の発展史
3. PR0077　標葉 隆馬（大阪大学）
   生命科学分野における研究公正ならびに研究評価に関する意識調査
4. PR0083　ブルクシュ ズザンネ（帝京大学）
   Med-tech Partnerships between Innovation Efforts and Boundaries Struggles
5. PR0093　花岡 龍毅（常磐大学人間科学部教授）
   遺伝子治療用製品の資本分析—バイオ・キャピタル (生-資本) 研究の課題
6. PR0098　松村 悠子（大阪大学 CO デザインセンター・特任講師）
   がん検診受診の意思決定を支援する情報提供コンテンツ開発
7. PR0100　杉本 光衣（東京大学大学院総合文化研究科）
   精神医学の当事者参画における経験専門家の役割の検討
8. PR0101　小門 穂（大阪大学）
   当事者からみる生殖医療技術—卵子提供調査から
9. PR0111　松原 克志（常磐大学）
   介護の日常から気づく科学技術社会論的課題　ー車いす移動車を事例としてー
10. PR0114　中野 佑一（国際基督教大学）
    ゲノム編集作物に関する知識と態度の日中米国際比較

11. PR0004　川本 思心（北海道大学）
伝書鳩と小熊捍：1920～40 年代遺伝学と社会

科学ジャーナリズム・メディア分析

12. PR0001　郝 哲辰（大阪大学・博士後期 3 年）
コーディング手法を用いた脳神経科学報道の内容分析
13. PR0008　本堂 毅（東北大学大学院）
科学ジャーナリズムと新型コロナ：日本のメディアは何を伝え，何を伝えないのか

【原子力】

原子力発展をめぐる課題

1. PR0003　原 拓志（関西大学）
JCO 臨界事故　－物的存在、行為主体、制度的・構造的要因－
2. PR0099　吉田 省子（北海道大学大学院）
高レベル放射性廃棄物の地層処分と NUMO 他による対話：市民からの評価報告
3. PR0115　寿楽 浩太（東京電機大学）
科学的予測による社会的意思決定の自動化への憧憬と高レベル放射性廃棄物問題

福島原発事故・東日本大震災

1. PR0005　陳 宬（東京工業大学）
3.11 後の地域復興における津波シミュレーションの役割
2. PR0056　浅野 希梨（総合大学院大学）
東日本大震災後の科学的合理性と若年層の視点～福島県立相馬高校の上演活動を通じて～
3. PR0126　八巻 俊憲（原子力市民委員会）
福島原発事故と市民性：「安全性の考え方」再考

【人文・社会系】

科学技術哲学、社会・倫理学

1. PR0010　萩原 優騎（東京海洋大学）
デイヴィッド・ライアンの監視社会論におけるリスクをめぐる視点とその理論的前提を問う
2. PR0027　福本 江利子（東京大学大学院総合文化研究科・講師）
学術の社会契約：概念の検討と反学術の事例に基づく社会契約の分析
3. PR0071　鈴木 俊洋（崇城大学）
人間と事物との間の関係に影響を与える技術について

4. PR0082　成田 吉希（八千代エンジニヤリング）
シニアコンサルタント 太平洋島嶼国の戦争遺産に関する STS 的課題
5. PR0094　桜木 真理子（札幌医科大学）
科学と民主主義におけるプラグマティズム理論
6. PR0122　河村 賢（大阪経済大学）
イアン・ハッキングはいかにして種の理論を放棄したのか：経験的研究への含意を中心に
7. PR0127　佐藤 陽太（千葉大学）
「植物虐待」を考える
8. PR0113　林 衛（富山大学）
被害放置構造の中で，いいわけのために誤用・悪用される科学

大学・研究者への信頼

9. PR0103　渡辺 健太郎（立教大学）
大学教員への評価は専門分野によって異なるか

研究能力・実態の分析

10. PR0057　廣田 英樹（文部科学省 国立教育政策研究所）
日本の研究力低下の要因としての研究者の人口動態の変化の検証
11. PR0112　一般社団法人 デサイロ（一般社団法人デサイロ）
人文・社会科学の未来を拓く 30 の論点：研究エコシステムの「脱サイロ化」に向けて

【教育】

1. PR0041　小野田 敬（東京工業大学）・伊藤 泰信（北陸先端科学技術大学院大学）
学術と実務の両立を目指した教育実践ーー社会人／専門職大学院における実践的リサーチデザインの検討ーー
2. PR0052　塚原 修一（関西国際大学・客員教授）
日本の 2010 年代の高等教育政策と理系教育
3. PR0080　楠美 順理（中京大学）
市民リテラシーとしての意思決定能力涵養教育スタイルの構築

【科学コミュニケーション】

1. PR0026 原 塑（東北大学大学院）
欠如モデル概念の二つの定式化

2. PR0032　工藤 充（金沢大学）
   科学技術コミュニケーションにおける「理論と実践の乖離」という問題の再定置：「co-production／共生産」概念を用いた試論
3. PR0055　小林 俊哉（九州大学）
   九州大学における科学コミュニケーションを応用した研究倫理教育－11 年間の振り返り
4. PR0060　根上 春（千葉大学）
   中島 悠（海洋研究開発機構 海洋機能利用部門 特任研究員）
   中田 柊（千葉大学大学院融合理工学府）
   大野健太(株式会社プリファード・ネットワークス)
   NPO 法人数学カフェの取り組みー数学における双方向の科学コミュニケーションの実践ー
5. PR0061　内田 麻理香（東京大学大学院）
   欠如モデルの機能性と規範性
6. PR0117　日隈 脩一郎（東京大学大学院）
   「作動中の科学」が作動するときーー文献レビューを通じた条件の探索的検討
7. PR0042　渡辺 謙仁（成城大学）
   AI は拙論をこう「読んだ」：大規模言語モデルとソフトウェアトークを用いた科学コミュニケーションの可能性

【学際・トランスディシプリナリー研究】

1. PR0063　寒河江 茜里（東京大学）・木見田康治（東京大学）
   サーキュラーエコノミーにおけるトランスディシプリナリー研究の促進・阻害要因の整理
2. PR0040　片岡 良美（名古屋大学大学院環境学研究科）
   学際的な共同研究の経験はどのように受け止められているのか——共同研究を「メタ的に」捉えることの意義
3. PR0087　木村 紀彦（慶應義塾大学）
   実践知ラボラトリー：実践知の生産環境としての「実験室モデル」の検討

【科学技術政策】

1. PR0043　久保田 唯史（京都大学）
   「責任を持つために責任を求める」？：研究者の「責任」についての考察

2. PR0044　江 欣樺（東京大学未来ビジョン研究センター）
   水環境における科学技術と政策設計の形成過程及び主体間の相互作用：琵琶湖総合開発を事例に
3. PR0062　上野 晴樹（国立情報学研究所）
   デュアルユース技術としての AI の研究開発戦略の国際動向と大学の役割り
4. PR0067　菊地 乃依瑠（政策研究大学院大学）・黒河昭雄（神奈川県立保健福祉大学）
   STI 政策立案に科学的知見は用いられているか？科学的知見の利用に関する概念整理とインタビュー調査から
5. PR0118　SON Joonwoo（九州大学科学技術イノベーション政策教育研究センター）
   「代表性」は「代表」されているか－科学技術政策における市民側の「代表性」判断基準の多様性に関するワークショップ研究の可能性

【市民参加・対話】

1. PR0007　渡部 麻衣子（自治医科大学）
   自律的シチズンサイエンスとしての「郵趣」
2. PR0021　小林 知恵（横浜国立大学）
   市民参加型ワークショップにおける大学の関与とその影響：組織への信頼の視点から
3. PR0038　石川 肇（特定非営利活動法人　日本ファシリテーション協会）
   SF プロトタイピングを用いた未来の満たされた暮らしについての市民対話

【ELSI/RRI, Dual Use】

分子ロボティクスと ELSI/RRI

1. PR0009　西 千尋（同志社大学・助教）
   「分子ロボティクスと社会」のためのコミュニケーション支援ツール
2. PR0054　見上 公一（慶應義塾大学）
   ELSI から RRI へ：座談会記録から考える変化の必要性
3. PR0104　松尾 真紀子（東京大学　公共政策大学院）
   合成生物学のリサーチコミュニテイが取り組むべき ELSI/RRI の活動に関する予備的考察

技術と ELSI/RRI、Dual Use

4. PR0031　HARTWIG Manuela Gertrud（東京大学）
   炭素から良心へ：持続可能なエネルギーシステムにおける価値観の再定義
5. PR0051　相澤 巧人（慶應義塾大学）
   アバター技術の技術受容性と ELSI への応答との関係性―日本科学未来館をフィールドとした実践から―

6. PR0076　中山 敬太（公益財団法人日本都市センター）
先端科学技術の「Dual Structure」の二面性と関係性－AI 技術とゲノム編集技術を事例とした「Dual Ethics」と「Dual Law」の観点から－
7. PR0105　佐々木 もも・川本思心（北海道大学大学院理学院自然史科学専攻科学コミュニケーション講座）
デュアルユース研究について研究者と管理者の間にはどのような認識の違いがあるか

【AI】

AI 社会を考える

1. PR0033　志水 洋人（名古屋大学）
不可視化される AI ロボティクス――ムーンショット型研究開発目標 3 のプロジェクトを事例に
2. PR0059　安藤 靖・横山　広美（東京大学大学院学際情報学府）
信頼構築のためのシステムおよび企業の AI 保証
3. PR0070　趙 允彬・横山　広美（東京大学大学院学際情報学府 ）
AI 環境政策に対する市民支持

AI 技術と ELSI

4. PR0028　一方井 祐子・横山 広美（金沢大学）
AI 利用におけるダイバーシティに対する態度：日本・アメリカ・ドイツ・韓国における国際調査
5. PR0029　木下 翔太郎・横山 広美（東京大学大学院学際情報学府）
AI の ELSI 測定におけるオクタゴンメジャメントの活用ー精神医療を例に

【技術者倫理】

1. PR0053　兼松 宏明（名古屋大学大学院）
日本の IT 技術者の非倫理的行為に対する対応の調査報告
2. PR0068　柴田 尚希（慶應義塾大学 政策・ メディア研究科）
ハードテック開発における技術者の価値観に関する考察

【科学の公共性】

1. PR0116　深貝 保則（横浜国立大学　名誉教授）
オープンサイエンスの展開とその知識論的意味づけをめぐる検討
2. PR0081　菅原 風我（NSSLC サービス、ACADEMIJAN）
科学のクラウドファンディングの成功要因としての「コアサポーター」の存在 ～国立天文台水沢のクラウドファンディングの事例から～

【防災】防災教育・対策・技術

1. PR0079 城下 英行（関西大学）
   防災教育・減災教育・災害教育
2. PR0088 野村 祐子（災害教育研究所）
   法的枠組みと実現象の乖離に起因する防災対策の逆機能に関する一考察
3. PR0102 高原 耕平（国土技術政策総合研究所）
   防災する／されてる身体：防災技術はわたしたちの生活身体をどう組み替えてきたのか？

【ダイバーシティ、ジェンダー】

1. PR0006　青木 千帆子（筑波技術大学）
   多様性を包摂する特定のデザインの社会的意思決定に関する調査
2. PR0069　佐々木 香織（札幌医科大学）
   フェムテック推進の言説分析：生権力とジェンダーポリティクスの articulation
3. PR0128 高橋 さきの（翻訳者、お茶の水女子大学非常勤講師）
   科学技術とジェンダーの 2010 年代

B. オーガナイズドセッション

1. GR0001 立花 浩司 オーガナイズドセッション 営農型太陽光発電の現状と課題

2. GR0002 八木 絵香 オーガナイズドセッション 気候市民会議の多様な開催を考える

3. GR0003 内田 麻理香 オーガナイズドセッション 科学コミュニケーションの理論と実践

4. GR0004 平田 光司 オーガナイズドセッション ELSI/STS 研究者の社会的責任

5. GR0005 江間 有沙 オーガナイズドセッション 行政が使うハイリスク AI のガバナンス：児童虐待防止行政を事例として

6. GR0006 林 衛 オーガナイズドセッション HPV ワクチン薬害解決に向けた事実の共有

7. GR0007 三河内 彰子 オーガナイズドセッション 科学映像・科学標本のアーカイブ化と活用における市民と専門家の協働

8. GR0008 多久和 理実 オーガナイズドセッション 女性への工学教育に関する歴史資料の現状と課題：東京女子高等師範学校出身者を中心に

9. GR0009 岸本 充生 オーガナイズドセッション 非医学系研究のライフサイクルに研究倫理審査的観点をどう組み込むか

10. GR0010 馬場 健司 オーガナイズドセッション 各分野のシチズンサイエンスにおける科学者と市民とのバウンダリ

11. GR0011 寿楽 浩太 オーガナイズドセッション COVID-19 パンデミック対策の STS 分析：リスク・コミュニケーション、専門知、市民社会

12. GR0012 藤木 篤 オーガナイズドセッション 気候変動対策としての地球工学を巡る ELSI

13. GR0013 田中 東子 オーガナイズドセッション AI/アルゴリズムと新しい社会倫理